

広報 ふじかわ

7月号 46. 7. 1 発行 No. 132

町のメモ

人口	46. 6. 1. 15,342人
増減	先月より +7
男	7,563人
女	7,779人
世帯数	3,530世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画課



ぼくも 泳げるヨ!!

ツユが明けるといよいよ夏です。

水泳、キャンプ、登山と夏のレジャーは沢山ありますが、気をつけなければならないのが事故、海や山などとあなどらないで、慎重な計画と無理のない予定で夏を楽しく過しましょう。

みんなの家庭から集められる

ごみの量は一日約14トンです

「ごみ」 毎日みなさんの家庭から出るごみの量は、町全体で推定約十三・四トンになります。

このうち燃えるごみが九・四トン、燃えないごみが四トンの割合となっています。

ごみは文化のパロメータ! (?) 最近は何久消費材のテレビ・冷蔵庫と、ごみの電化(?) も著しい状態で、その種類も多様化し、この毎日出るたくさんのごみをどのように仕分け、また環境をよささないように処理したらよいかなどの問題が生じてきています。

町のごみ収集業務の開始は、昭和三十二年度から町営で行なわれ現在に至っています。

昭和四十六年度は、町予算の内衛生費六・二パーセントで清掃費は二千二百二十万円。現業職員は7人。収集車は、ロータリー式収集車二トン積二台。ダンプ二トン積二台。焼却場施設は、パッチ式固定却で処理能力は日量八トンです

み 皆さんの家庭から四台の車に
より集められたごみは、町焼



上 現在庵原3町で、燃えるゴミや燃えないゴミを捨てている富士川河川敷

下 不法に捨てられたゴミ、場所は東名富士川橋の下

却場へ運搬され処理されます。燃えないごみは、富士川河川敷に捨てられ、定期的に埋設処理されています。

しかし、富士川河川敷の投棄も

ごみ処理問題を解決するため、

建設者の許可が昭和四十六年九月三十日までとなっており、今後の処理対策に苦慮している状況です

処理能力は50トン

ごみ処理施設の計画は、庵原郡

昨年十月十七日、富士川・蒲原・由比の三町で庵原地区廃棄物処理対策協議会を発足させ協議を重ねています。

現在の一部事務組合を、庵原郡環境衛生処理組合として発足させ三町で個々に行なっているごみ処理を共同で処理する運びとなりました。

生活保護制度

一、保護対象

・老すいで働かず、生活に困っている人

・病気で医者の治療をしたが、医療費の支払いに困っている人

・その他の事情でも、生活に困っている人

二、保護の種類

・生活扶助

いくら働いても、収入があがらず生活の維持ができない人

・住宅扶助

住宅に困ったり、家賃(間代)の支払いができない人

・教育扶助

義務教育に要する費用がまかなえない人

・医療扶助

病気で医療費の支払いができない人

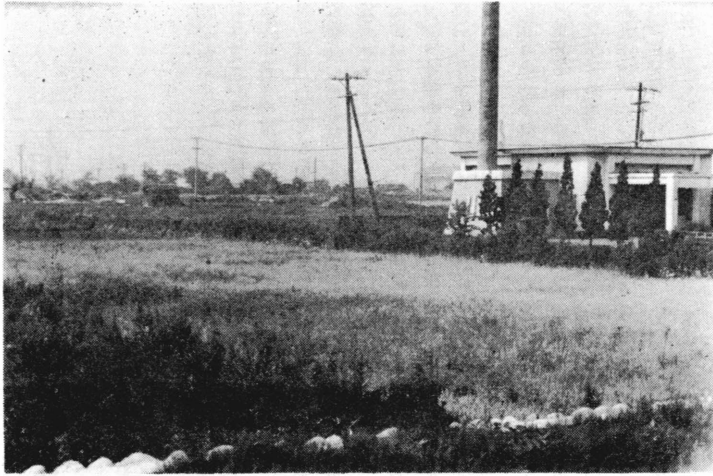
・その他の扶助

お産や、新しい仕事につくため必要な費用がない人、お葬式の費用がだせない人

三、申請の手続き

近くに住民生活委員か、役場の住民課へ申し出てください

近づくに住民生活委員か、役場の住民課へ申し出てください



工費1億5千万円をかけて建設される、処理能力1日50トンのゴミ共同処理場予定地。 蒲原町内蒲原火葬場

下三町全域を対象としての処理能力を持つ施設が考えられています。昭和五十一年の推定人口を三町合計四万八千人(内富士川町一万六千人)とし、一人当り一日のごみの排出量を八百七十三グラムとして推定収集量は一日四十四トン位とされています。

燃えないゴミは、どのように処理するか………

燃えないごみをどうするか

処理能力一日五十トンの機械化パッチ燃焼式の焼却炉が検討されています。建設場所は蒲原町地内の蒲原火葬場の土地、約千六百五十坪(五百坪)です。併せて、ごみ焼却にあたって、環境汚染のない処理施設を施すよう検討しています。

町議会六月定例会が二十九日に福祉センターで開催され、一般質問で、花田宗司議員より

「不燃性廃棄物の処理対策についての考えは…」との質問がありました。この質問に対して中川国兵衛町長は次のように答えています。

「廃棄物の公共処理は、現在建設省より富士川河川占用許可を得て処理している実状です。燃焼物については、庵原三町でゴミ焼却所建設計画を推進しています。また不燃物の処理については、現在今年九月三十日までの富士川河川敷古川許可の継続の陳情とともに別途、不燃物の破碎及び圧縮機の設置と埋立処分地の確保に対処すべく努力いたしていきます。不燃物と燃却物の残灰とを併せると年間一万リューベの処分が必要です」

燃えないごみの処理は、今後の問題として残されています。

富士川へのごみは

現在、建設省から占用許可地の富士川河川敷へのごみは、ガラス・カワラなどの燃えないものを対象に捨てる事ができます。

捨てられる日は、週三日(月・水・金)で、時間は午前八時より午後五時までとなっています。一回の投棄料は、二トン車二百円。四トン車四百円です。券の発行は、町衛生課で、午前九時より午後三時まで(土曜は十二時)毎日取扱っています。

ごみ・ガラスの収集日

収集日	ごみ収集巡回地区	ガラス・瀬戸物
月曜日 木曜日	相生町 上町 舟山町 坂下 旭町 本通一 本通三 本通四 幸町	第1月曜日
火曜日 金曜日	堺町 川坂 新町 新町四十九 宮町 小池 東町一 東町二 日の出町	第2火曜日
水曜日 土曜日	木島 小山 室野 松野地区全域	第3水曜日

なお、個人の秘密は、かく守られますから安心してください。

鉄砲など

取締法改正される

五月二十日から模造刀剣類、十月二十日から模造けん銃を持つてはいけません。

ただし、銃腔を金属で埋め、白または黄色で塗装したもの、または、こども用おもちゃは持つてもよいことになりました。

蒲原警察署 防犯係

身につく

技術と根性

防衛庁では、四十六年度の自衛官を採用中です。

(資格)十八才―二十五才未満の男子

(待遇)初任給、二五〇〇円(衣食住は当方で負担します)

・ボーナス年三回 (四、七ヶ月分)

・勤続手当 二年で一〇〇日分 四年で二〇〇日分

・有給休暇 年二十四日 (他に正月休暇六日)

くわしいことは町の総務課へ問合せください。

フッ素ガスをだすな！！

日軽金に再要請

昨年十一月に、日軽金(株)蒲原工場に対して、フッ素ガス排出規制に関する要請書を提出したことは五月号で紹介しましたので、ご承知のことと思います。この回答について町当局および公害対策連絡協議会が協議した結果、同回答書を不満として四月十二日付で、同工場に再度の要請書を提出しました。

このほど、再要請についての回答書説明会が五月三十一日に、老人福祉センターでおこなわれました。町側からは、町長はじめ町議会議員、公害対策連絡協議会約六十名。会社側からは、牧内次長以下六名出席しました。内容は次のとおりです。

- 現在の環境改善設備計画(十八億円)は、四十八年三月まで完成する五カ年計画ですが、満足なものではありません。計画の短縮について要望します
- (回答) 従来の計画に十億円を増額して、パーマネント・ケーシング、(電解炉を被覆して、ガスを取りのぞく装置)屋根洗浄工事(屋根から出るガスを集めて、それを洗浄する装置)などをおこない四十七年十月までには、アルミニウム・トーン製造するときに三、八kgのフッ素ガスが放出されているものを(四十三年当時)一、〇kgに縮小します。この計画が完成すれば、農作物に対する被害は減るものと考えられます。
- 四十六年度から実施される、屋根洗浄設備工事の具体的な計画と、現在試験中の屋根洗浄設備についての結果は?
- (回答) 建設費四億四千三百万円をかけてB工場の屋根洗浄設備工事をおこなっています。屋根洗浄設備については、試験の結果洗浄効率は八十%~八十五%という良好な数字が出ています。
- TCA装置(洗浄塔)の効率について、現地で実施説明していただきたい。
- (回答) TCA装置の効率については現場で説明します。
- 三町のフッ素対策研究会は、規約成文化されていないが、公害課の行政指導と連絡調整のため

の単なる打合せ会となっておりますので、前回の回答文にありません公正機関とはいえません。したがって町ヘデーターを公表してください。

また、町内に設置されたフッ素ガス測定機の数値については会社側でも県にデーターを提出し、定期的に公表すべきであります。

(回答) 同研究会は、ご指摘のとおりですが、連絡会の性格をもつものと思えます。

各種データーに客観性を持たせるためにも、県にチェックしていただき、これを同研究会を通じて公表することが好しいと思われま

れますが、それまでの間で町の指定する者による工場内立入調査を認めてほしい。

また、町単独で実施する大気汚染調査、および煙源調査についても協力してほしい。

(回答) 立入調査、煙源調査は、公害課で必要の都度実施しています。工場では立入調査、煙源調査は歓迎しますが、あくまでも行政指導される県公害課が実施することが、データーの正確性からもよいかと思われま

● フッ素ガス測定機は、町に三台配置されていますが、最近における農作物、植物の被害は広域化しています。さらに二台の測定機の増設(東町、室野小山地域)が必要です。

(回答) 「三町フッ素ガス研究会」で了解済みであります。工場としては前回の回答のとおりです



フッ素ガス被害の現状調査

消防士募集

庵原地区消防組合

詳しいことは、庵原地区消防組合か、町総務課へ問合せください。

貯金は郵便局で

郵便局では、有利な簡易保険利息のよい定期貯金をおこなっています。これによって預っているお金は道路、水道、学校などの公共施設の建設に使われています。

保険や定期貯金でのくわしいことは郵便局へ問合せください。なお、郵便をだすときは、必ず郵便番号を書いて出しましょう。当町の番号は四二二―三三

納税標語の

募集

県や市町村は、教育、警察、消防、土木、病院、公害防止などいろいろな仕事をしていいます。その重要な財源となるものが、みなさんの納める税金です。

参院選おわる



候補者別得票数(地方区)
 川のべ静 自民党 二六九四票
 松永忠二 社会党 二四八五票
 小林武治 自民党 一九三七票
 栗田みどり共産党 五九三票
 小田俊与 無所属 八五票
 候補者別得票数(全国区)
 栗林卓司 民社党 九九九票
 小平芳平 公明党 七三二票
 内藤三郎自民党 三五九票
 田英夫 社会党 三三三票
 山内一郎 自民党 三〇六票
 岡本 悟 " 二七二票
 加藤 進 共産党 二六〇票

六月二
 十七日に
 おこなわ
 れました
 参議院議
 員選挙で
 当町の投
 票率は七
 六・四二
 %でした
 これは
 前回より
 四・九二
 %下回っ
 ています
 なお、
 開票の結
 果は次の
 とおりで
 す。

安西愛子 自民党 二五〇票
 梶木又三 " 二四三票
 望月優子 社会党 二二一票
 野上元 " 一六五票
 鈴木力 " 一六二票
 町村金五 自民党 一五六票
 平泉 涉 " 一四六票
 西村尚治 " 一四〇票
 野々山一三社会党 一四〇票
 山本スギ 自民党 一三一票
 横山フク " 一二七票
 山本伊三郎社会党 一二七票
 正置和郎 自民党 一一〇票
 村上孝太郎 " 一一七票
 (全国区立候補者数 一〇六人)
 有権者数
 男 五〇四三人
 女 五二九九人
 計 一〇三四二人

投票者数
 男 三七一人
 女 四一九二人
 計 七九〇三人
 投票率
 男 七三・五九%
 女 七九・一一%
 計 七六・四二%

県政モニター

四十五年度の県政モニターが決まりました。
 県政モニターの仕事は、県政に対する意見、要望、批判など地域住民の声を県政に反映させるのが主な目的です。
 全県下で約二百五十名が委嘱さ

「風が吹けば桶やがもうかる」式に云うと「水道屋がひまで困るときは、その住民は幸せだ」ということにな

「売上げて食っているくせに何んたることを」と読者は怒るにちがいない。

水商売

何故なら我々が忙がしくて飛び廻っているときは、雨で原水が濁ったとか、交通事故で消火栓や本管を折損したとか。或は

一度断水するとこの位困ることはない」といふことは誰よりも読者が一番知ることだ少しでも永く、閑なときが続くことを毎日祈っている。

水滴子

納税委員

れており、任期は毎年四月一日より三月三十一日までです。
 当町のモニターは次の二名です
 (敬称略)
 小川富雄 北松野 精肉業 新植松法子 上町 主婦、二期目
 昭和46年度

木島：平田広胤 小山：井上又一
 室野：望月 勇 相生：時田 勇
 上町：大村文夫 舟山：花田恒雄
 坂下：伏見益司 旭町：芦川茂夫
 高藤和大、加藤義明 堺町：中野康男 川坂：飯田定男 新町：小笠原喜平 新四：渡辺忠吉 宮町：田中孝次郎 小池：志村恒雄 鍵穴：望月林策 本一：太田弥作 高藤房治 本三：奥村皖英 本四：丸橋成太 幸町：小系利道 東一：井出秀雄 東二：川越武雄 日出：小笠原専次 南町：佐野正豊、小林幾平、武下晴夫、影島好彦、稲葉定雄 富士見町：小林孝一、久保田清一、佐野勇、望月次郎、清水篤、望月政太郎 かぎあな：望月清、佐野英三 八幡町：稲葉種夫、稲葉寅三、望月義郎 清水町：鈴木武司、望月勝年 大北町：蓮池一郎、宇佐美治哉、田中金二郎 儘下町：斎藤淳司、天野益雄、石川道友、桐山春雄 以上五〇名

納税についての理解と意識の高揚を図るための一環として、次により納税標語を募集しています。

▼応募方法▲

- 一、内容、納税について
- 二、応募資格、静岡県内に住んでいる人
- 三、募集期間、四十六年七月十日から八月十日まで
- 四、締切日、四十六年八月十日
- 五、提出先、県財務事務所または市町村役場の税務課
- 六、応募様式、官製はがきに一枚一点記載する。住所・氏名(ふりがなを付ける)性別・年令・職業(学生の場合は、学校名と学年)を記載する。
- 七、その他、入賞作品は自由に利用させていただきます。

入賞者に対しては、賞状と副賞を贈ります。二点以上の同文作品は抽せんで入賞者をさめます。

入選五点、副賞各五千円
 佳作五点、各三千円
 発表、四十六年九月中旬、入賞者へ通知します。

主催、県税務研究会

くわしいことが知りたい方は役場の税務課へ問合せください。

文化協会総会

四十六年度の文化協会総会は、五月二十二日に老人福祉センターでおこなわれました。

当日は、会員百数人、町長ほか来賓数人が参加して四十五年度の決算と事業経過、新役員紹介、四十六年度の予算と事業計画を審議可決されました。同協会は文学、美術、音楽、芸能、趣味、郷土研究の六部門から成り立っていて、町内の文化活動に関心をもつ人々たちによって組織されています。

毎年十一月には町民文化祭が開かれています。各部門でも新しい行事が沢山おこされてきて、それぞれ文化祭に焦点を合わせて活動してきます。

役員 (敬称略)

会長 秀村敏朗
 副会長 天野 寛 望月八代
 理事長 芦川守正
 常任理事 影島智子 渡辺 清
 小野日央 杉山正作

常任理事 谷莊四郎 佐藤ちよ
 原田良之輔 芦川照江
 甘露寺雄次郎
 監査 斎藤新一郎 法月幸子
 事務局 池谷九万夫

劇団 劇 炎

第2回 自主公演を

蒲原文化センターで

富士川町文化協会(秀村敏郎会長)所属の劇団・劇炎は、今夏八

月八日午後六時から、庵原郡三町の町民皆さんを対象に、第2回の自主公演を行います。
 昨年、町第一公民館で行なった第1回自主公演では、源平富士川合戦を扱った「逃散」。
 今回は、「黒と白と赤と青の遊戯」——作・高堂 要一を上演します。

自然と親しむ会

生まれる

公害にいためつけられた社会に住み、自然の貴重な価値をひしひしと感ずる毎日です。

家族、知人、友人の三々伍々が折あれば海辺にたわむれるのも、以前の行楽と違って、切実な欲求と感じられなくなりません。

野性の価値が、どれほどわたくしたちの心と体をいやし、またどれほど子どもたちの詩情を育てることか。——誰しも通感するところです。

「自然と親しむ会」は、そのた

めに充足するもので、わずらわしい規約や規制などというものは、一切ありません。会が計画実施した行楽に参加した方が即会員であり、会の運営は、会員の選んだ「世話人」がたつていくことになり

ます。
 自然に遊び、山菜料理、沢がにとり、魚釣り、葦とり、野いちご摘み等々、常に自然と調和した創造を考えていきます。

詳細については次の発起人へ。
 氏名 十
 池谷佐和子 ①・〇九三八
 米山 隆 ①・〇一六八
 小永井輝雄 ①・〇二六五
 望月 藤一 富士川駅
 渡辺 幸一 ①・〇四〇五

通信員だより

「祭だ酒だ、大いに飲み、大いに食い、大暴れ、仕事もいやなことも忘れバカ騒ぎ。ハッピーに鉢巻姿のお兄さん、みこしかついでねりあるく、花火あり、相美あり、ありあまる力をこの時とばかり。貴男もどろぞ、ハッピー貸します。」
 ところが、この光景も段々と薄れていくようだ、なぜだろう若者は、こんな古くさいことがいつまでもできるか、バカバカしい、我々にはもっとおもしろ

い楽しいレジャーが「ワンサ」とあるのだ。
 このような部落単位の祭が各所に見られる。この富士川町にも何十とあるのだ。祭をしたがる者が少なくなる

のに、祭だけは昔と変らぬ、これでは主催者も手をぬくのはあたりまえ。どうだこのへんで富士川町祭を作っては、一日でも二日でもいい、部落の祭を全部この日にまとめたなら、楽しくなるだろう。「おもしろいよ」

26

娘たちの超ミニを好ましいと感ずるのは、ヒザ上深くのぞかせるという、一種のタブーへの挑戦を好ましく感ずるからである。

たしかに彼女らは、タブーへの挑戦こそ、現代の美だと主張しているのだろう。その彼女らが、結婚式に限って、あの衣裳に包まれてデンとして恥じないのは、どうしてであろう。あの衣裳とコッテリ白粉は、身売り姿だと罵倒してもまだ足りない。
 結婚式とは、SEXの独占、被独占関係(つまり家庭という安定した労働力の供給源)となることを、その帰属する社会と契約する儀式である。

だからこの儀式には、社会の代理人である「カミ」が登場する。二人は「カミ」と契約するのである。牧師の祝福を結婚成立の不可欠の要件とする欧米でも、三三九度の盃という呪術(カミの変身)を儀式の中心とする日本でも、この事情は変らない。
 現代娘らは、或いはそのことを知っていて、わざと文金島田になることをカッコよいと思っているのかも知れない。「カミ」を欺すニセ契約のつもりが、実は「カミ」の思う壺だとは知らずに。
 社会教育主事 池谷九万夫

球技大会を開く

郡連合青

年団球技大

会は、六月

二十日に由

比小学校々

庭と、由比

中学校体育

館でおこな

われました

県青年祭選

考もかねた

この大会に

当町からも

二十五名参

加、一日楽

しく競い合

っていました。

また、バレーボール大会は、二

十四、二十五日に富士川第一小学

校体育館でおこなわれました。

結果は次のとおりです。

○ソフトボール

富士川対由比

八対六

富士川対蒲原

五対七

○卓球

団体、二位(望月金作

山本満、石川谷子、大田

原麗子

○バレーボール(男子)

富士川対由比

二対〇

富士川対蒲原

〇対二

(女子)

富士川対由比

一対二

本栖湖で

キャンプ

町連合青年団は、七月十七日、

十八日に本栖湖でキャンプ研修会

を行ないます。

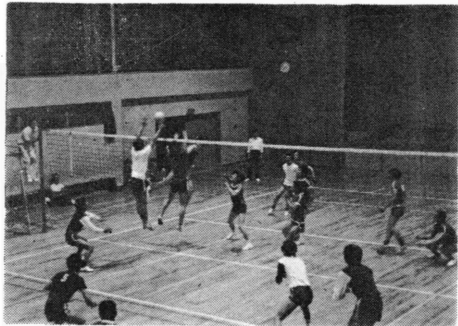
青年なら誰でも参加できますの

で、ご希望のかたは青年団事務局

か、近くの役員に詳しいことを聞

いてください。

なお、会費は五百円です。



富士川対蒲原バレーボール試合の様

本通三、四チーム優勝

ソフトボール大会

三十代四十代を対象に、第二十

一回ソフトボール大会が、六月十

三日に第一中学校々庭・富士川製

紙グラウンドの二カ所で開かれまし

た。

この大会は、体育協会主催で毎

年春、秋の年二回おこなわれてい

ます。

町内を十六チームに編成して、

あらかじめ抽せんして対戦相手を決

めておき、十四チームの参加をえ

て、トーナメント方式で戦かいま

した。

その結果、決勝戦では本通三、

四対宮町チームが対戦して、七対

二で本通三・四チームが五回連続

の優勝を遂げました。

六月俳句会

小沢吼素人

肥満の血太るほかなし夏雲雀

蟻働く老婆の会話目つむりて

天野 たま

渥仏会袈裟一筋に身のしまる

法月 幸子

日永さの意に添う棲の仕上られる

田辺つね子

道いくつ曲りても添う夜の蛙

木伏 八子

痛む歯にコップの梅酒ためらいつ

宇佐美裕子

口許のきりりと男児五月雛

宇佐美幸子

夜蛙やねむれぬままに母のこと

影島 智子

蛙を塗る一飯づつの泥を浴び

▼富士川短歌会▲

六月詠草

天野 寛選

田村タカ

庭石に運ばれて来し三波石夫と

吾とが飽かず眺めおり

年令を感じさせるが平和な情景

である。初句は「庭の上に」とす

るのがよい。意味、内容がよくわ

かり、調子もよくとのつている

山田孝子

田のあぜを苦しみてつけおり振

り向けば海鳥ら来て虫を食べ居

る

農に従う人の感慨には共感でき

る。尊い、そして苦しい体験を通

しての描写であるから骨格がしっ

かりしている。下句は実景として

おもしろい。

飯野よし子

容赦なく税金引かれぬ四十年つ

とめし夫の年金より

税体系はまことに複雑である。

これに対する人の気持も複雑であ

る。端的な表現の中にそうした気

持が現れている。一、二句で具体

的に税率などを云うべきである。

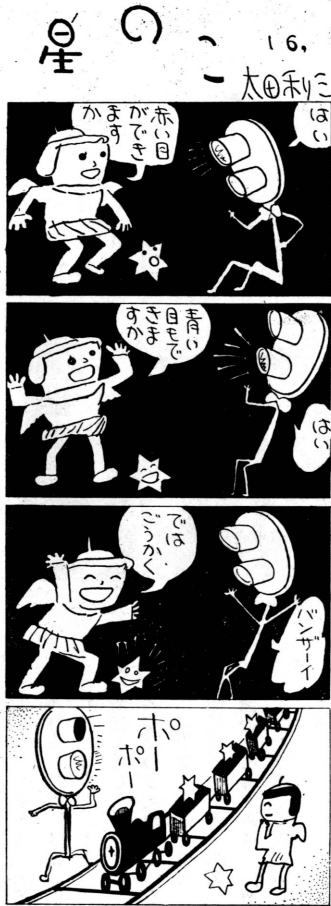
植松法子

参道に遅れし子呼べば水たまり

三つ飛びこえ子は走りくる

把握的確だが、「子」を一つ省

きたい。



富士川駅

一周年記念

富士川駅は、昨年六月一日に改築され、駅名も岩淵駅から富士川駅に変更されました。

改築後一周年を迎えた同駅では記念として「美しい日本をたずねて」と題した観光写真展を開きました。全国各地のPR用の写真三十数点、国立鉄利用PRの説明文やマンガのさし絵を待合室やコンコースに展示しました。



観光写真を見つめる人たち

駅の乗降客は、この素晴らしい企画にしばしば目を向けて喜んでいました。なお、この飾り付け、企画などは、全部同駅の職員でおこなわれました。

カーブミラーを清掃

松野地区の少年でつくられてい

は大喜びでした。

最近、車が増える一方で県道町道を問わず、交通量は増大し続けています。特に富士川富沢線は一日の自動車通行量一万二千台にもおよび、中でもダンブカーは七千台も通行しています。同団のおかげでカーブミラーはきれいになって、一段と見通しがきくようになり、運転者の皆さん

る、ボイスカウト富士川第二分団(小林安行団長)は、町内に設置されているカーブミラー約六十個を清掃しました。交通安全のうえからも「これでは役に立たない」と、隊員二十名小林団長以下リーダー四名が集まって国道一号线、県道、町道などのカーブミラーを清掃奉仕しました。

7月の行事予定

6日	火	文化教室	9 AMセンター
7日	水	青色申告納税相談	9 AMセンター
9日	金	明治学級	9 AMセンター
10日	土	七夕まつり	6:30 PM
"	"	スポーツ振興懇談会	7 PMセンター
11日	日	郡砂の造形大会	蒲原の浜
13日	火	農業委員会	1 PMセンター
19日	月	家庭教育学級	1 PMセンター
20日	火	民生委員会	9:30 AMセンター
"	"	人権総合相談	センター
"	"	文化教室	9 AMセンター
"	"	広報通信員会	6 PM役場
"	"	松野地区農業振興協議会	10 AM旧支所
21日	水	自治教室	7 PMセンター
23日	金	婦人学級	1 PMセンター
25日	日	文化教室 家族海水浴	伊豆多賀
28日	水	幼児と母親のつどい	1 PM児童館
"	"	自治教室	7 PMセンター
31日	土	七夕まつり	6:30 PM松千代保

おめでた

(敬称略)



46・5・20〜6・19

上町	幸町	富士見町	東町一	新町	儘下町	"	"	"	四十九	"	大北町	小池	"	南町	堺町	宮町	坂下	区名		
井上しのぶ	伊藤信子	望月洋子	滝 宜久	桐山 孝	石川安佐子	山本通子	続 智子	田所美宏	荒木香苗	村下正典	佐野智子	加藤秀紀	木伏智恵子	小林 功	神田智光	渡辺三穂子	佐野貴子	増田英里	青木恭子	望月典恭
光昭	高義	秀樹	利光	俊二	学	喜一郎	義幸	斎一	明德	辰男	隆宣	武男	守康	芳男	節造	隆一	幸一	健二	茂治	勲
二女	長女	長女	長男	二男	長女	二女	二女	長男	二女	長男	長女	長男	長男	三女	長男	二男	長女	長女	長女	二男

よろこび

おしあわせに

区名	坂下	大北町	"	宮町	幸町	舟山町	新町	区名	南町	東町一	"	"	旭町	"	上町	"	宮町	堺町	富士見町	川坂	四十九	区名
新 郎	前林俊雄	加藤真助	鈴木晴雄	安藤宗一	佐野勝則	曾我由記男	望月義明	小林初美	天野揚子	栗田節子	吉沢淑子	斎藤 栄	望月美沙子	太田秀子	鈴木隆子	長島順子	保竹美幸	佐野美子	小永井節子	小永井節子	澄子	石川美智子
新 婦	慶子	信子	美佐子	みよ子	真美	久子	末子	富士宮市	三島市	清水市	清水市	清水市	清水市	清水市	清水市	清水市	清水市	清水市	清水市	清水市	横浜市	年令

かなしみ